

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

7.20集会に総結集し 全国から総反撃に転じよ

国鉄分割・民営化絶対反対七・二〇全国鉄労働者集会への呼びかけ

すべての国鉄労働者のみなさん。たまたか労働者のみなさん。情勢は正念場に突入しています。反動・中曽根は、同日選の「圧勝」を切り札に、次期臨時国会で国鉄法案を強行成立させ「六二年四月一日新体制移行」を実現しようとしています。そして、国鉄当局は、「分割・民営化」再建監理委答申を既成事実化し、十万人首切り―国鉄労働運動解体を唯一の目的に次々と攻撃を加えています。

とりわけ、七月一日をもって「人材活用センター」の設置を強行し、組合役員、活動家を「余剰人員」として選別し、職場から排除するすさまじい攻撃を開始しました。われわれがはつきりと見据えなければならぬことは、こうした攻撃を動労革マル・ニセ国労を手先に強行してきていることです。

動労革マルは「雇用の確保」をペテン的に叫びたて、国鉄労働者を犠牲にする恥ずべき行為を重ね、当局の手先となつて分割・民営化推進―国労・動労千葉破

壊―産業報国会への道をつき進んでいます。この憎むべき国鉄労働者の敵・動労革マルの一扫なしに分割・民営化を粉砕し、国鉄労働者の未来を切り拓くことができないことはありません。一方、国労中央は、中曽根・杉浦・松崎の攻撃に圧倒され、なすすべもなく屈服と後退を繰り返し、当局の攻撃の前に組合員を無防備のまま放置しています。

しかし、全国の職場において多くの国鉄労働者は動労革マルの裏切りに怒り、国労中央の屈服にもめげず、当局の理不尽な攻撃と対決し必死で闘いつづけています。

全国の国鉄労働者のみなさん。ふりかかる火の粉は自らの手でふりはらわねばなりません。

動労千葉は、二波のストライキへの決起を通して組織と団結をより強化し、分割・民営化をめぐる闘いの勝利にむけた新たな地平を切り拓きました。

すべての国鉄労働者は、いまこそこの闘いにつづこうではありませんか。

国鉄労働者の総決起で中曽根・杉浦・松崎一体となつた国労、動労千葉破壊を打ち破り、分割・民営化、国鉄法案、十一月ダイ改を粉々に粉砕しようではありませんか。

そのために、七月二〇日、東京・大手町の農協ホールで開催される「七・二〇全国鉄労働者集会」への大結集を実現し、反撃に転ずるための戦闘宣言の場として大成功をかちとろうではありませんか。

一九八六年七月十日
国鉄千葉動力車労働組合
執行委員長 中野 洋

国鉄法案粉砕、十一月ダイ改阻止、「真国労」解体 国鉄分割・民営化絶対反対 7・20全国鉄労働者集会

七月二〇日(日) 正午～午後五時
農協ホール(地下鉄大手町下車、農協ビル八階)
主催 七二〇集会実行委員会

吉野 元久(国労千葉支部長) 永田 雅章(動労千葉支部長)
飯島 幸雄(国労千葉支部長) 富田 益行(国労千葉支部長)
太田 孝夫(国労千葉支部長) 小玉 忠憲(国労千葉支部長)
綾部 光男(国労千葉支部長) 長谷川 政一(国労千葉支部長)

「いまこそ総反撃へ 国鉄労働運動の課題と任務」 動労千葉執行委員長 中野 洋
■ 基調報告 吉野元久(国労共闘) ■ 全国からの発言

よ！粉砕を攻撃破壊組織で団結な強固の家族員組合全